

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2021 年 11 月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL : 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL:03-5947-4781 FAX:03-3923-4539



2023 年 5 号(9-10 月号)

特集 HTLV-1 母子感染予防の 新方針

2022 年 11 月改訂「HTLV-1 母子感染予防対策マニュアル(第 2 版)」では、最新の研究結果に基づき、短期母乳栄養の選択肢が加わりました。同マニュアル改訂の概要を解説し、HTLV-1 キャリアの母親とその子どもへの継続支援、心理的サポートの最新情報をまとめます。



2023 年 4 号(7-8 月号)

特集 産む人を中心にした 帝王切開

帝王切開を「出産」と捉え、産む人・生まれる人を中心にした実践を行うためには、助産師は何を学び、何をすればよいのでしょうか。産婦人科・麻酔科・形成外科・リハビリテーションの専門家に聞きました。「産む人」代表の細田恭子さん企画です。



2023 年 3 号(5-6 月号)

特集 妊娠中の体重管理と栄養

2021 年に「妊娠中の体重増加量の目安」が改定されました。低出生体重児の割合が高く、「やせ」の女性が多い日本。妊娠・出産をきっかけに、女性が自身の心身の健康に向き合えるような体重管理のあり方を、さまざまな角度から考えます。



2023 年 2 号(3-4 月号)

特集 チームで取り組む 周産期メンタルヘルス

信州大学医学部「周産期のこころの医学講座」の全面協力の下、附属病院産科、NICU・GCU、精神科とPSW が毎週行うカンファレンスを誌上に再現。さらに助産院との勉強会に加え、スタッフのケアも含めた周産期メンタルヘルスの実践を学びます。



2023 年 1 号(1-2 月号)

特集 ライフワークとして考える 助産師のキャリア

病院・地域・行政という従来の枠組みにとらわれないキャリアや、自身の「やりたい!」を課題解決に結びつけてきた助産師の体験談を掲載しています。超少子化の今だからこそ、社会のあらゆる場面で助産師が求められていることが分かります。



2022 年 6 号(11-12 月号)

特集
ベテラン助産師に聞く
退院までの母乳育児支援のコツ
新人・中堅母乳育児支援でぶつかった悩みについて、助産師歴 37 年・IBCLC 歴 21 年の先輩助産師が答えます。お母さんとのコミュニケーションや、母乳量を調節するワザについて、考え方から「ちょっとしたコツ」まで、一緒に学んでいきましょう。

2022 年 特集

- 5 号(9-10 月号) 共働き家庭のための出産準備アップデート
- 4 号(7-8 月号) 切れ目ない支援を実現する産前・産後の訪問看護
- 3 号(5-6 月号) オンラインクラス・オンライン相談
- 2 号(3-4 月号) 教科書に載っていない「進まない分娩」の対応
- 1 号(1-2 月号) COVID-19 流行下の助産ケア

2021 年 特集

- 12 月号 組織で育む助産実践能力 国立成育医療研究センターの助産師能力開発プログラム
- 11 月号 母親と助産師の経験から授乳支援を考える